

2024年度

学校法人
支倉学園
ファッション文化専門学校DOREME
DOREME INSTITUTE OF FASHION AND CULTURE

学校評価—学校関係者評価—

学校関係者評価委員会

開催日時:令和7年6月6日(金) 9:30~11:00

場所:本校理事長室

参加委員 ※敬称略 50音順

相田 志 &A color office 代表
及川 壮也 本校卒業生 会社代表
檀崎 孝志 本校卒業生 会社役員
針生 庸一 有限会社針惣 代表取締役
古川 直磨 古川直磨公認会計士事務所 代表
山口 文彦 有限会社 ONEanother 代表取締役

同席者

菅野 敦子 ファッション文化専門学校 DOREME 校長
菅野 麻那 学校法人支倉学園 法人本部長

学校関係者評価委員会からの主なご意見・対応等

(1)教育理念・目標

【意見】

特段なし

【対応】

(2)学校運営

【意見】

・学校設備の改修工事(トイレ)

【対応】

・1F 来客用トイレ令和7年度実施予定

(3)教育活動

【意見】

・ファッションスクールアワード受賞素晴らしい。更にカリキュラムを充実させ、しっかりと広報していただきたい。
・出席率の締め切り日や評価提出日が確定され、より適正な評価が行えるようになった。
・キャリア教育が素晴らしい。就職率はトップクラスであり、是非継続してほしい。

【対応】

・校長が中心となり授業査定の実施と全教職員との面談を行う。改めて長年勤めている講師評価も行い、契約条件等もこまめに見直しをすることで、協力体制を確立していく。
・令和7年度よりアパレル CAD 導入。

(4)学修成果

【意見】

- ・就職率が常に高い。今後も続けてほしい。
- ・入学者の確保方法の検討が急務。魅力発信の方法を検討。
- ・発達障害を持つ学生への支援を強化してほしい。講師では対応し辛い。

【対応】

- ・学生個人個人に合った就職先の提案、サポートを継続していく。
- ・入学生増加対策は継続して取組み、学校全体で取り組んでいく。
- ・入学前面談に関しても、広報担当者だけでなく学科担当も協力して検討していく。
- ・カリキュラムの見直しを行い、学生が自然と登校できる環境をつくる。

(5)学生支援

【意見】

- ・前項同様、やはり不登校気味の学生のケア方法を検討するべき。学校に来ない→退学の負のスパイラルを払拭してほしい。
- ・教職員のメンタルヘルス研修は是非実施してほしい。
- ・障害のある学生への対応は規定を作成してほしい。

【対応】

- ・不登校の学生は転科や遠隔授業も視野に置いて検討。
- ・障害のある学生については、1人1人障害の度合いが異なる為、基本的な対応策をマニュアル化する。

(6)教育環境

【意見】

- ・特段無し

(7)学生の受入れ募集

【意見】

SNS や行事、学外活動等頑張っている感じはあるが、実際他校に流れてしまっている。その原因を究明すること、そして対処していくことが必要なのは明らか。立地や設備面で劣る点は、やはり人海戦術で乗り越えなければいけないのではないだろうか。全教職員の協力が必要だと思う。

- ・HP の不便が目立つ。映像を組み込んだり、もっとファッショナブルなものにした方がよいのでは。

【対応】

- ・ご意見の通り。広報担当者だけでなく、全職員で活気あるオープンキャンパスを目指さねばならない。HP に関しても、写真の入替だけでも行い、フレッシュさを出すようにする。

(8)財務

【意見】

・建物の老朽化が目立つ為、計画的な修繕計画を立てた方が良い。壊れてから直すのではなく、その前に対処してほしい。

(9)法令等の遵守

【意見】

特段無し。

(10)社会貢献・地域貢献

【意見】

・企業説明会が魅力的だった。特に東北の縫製産業の方々をお呼びしたことは、地域貢献にもなり、ファッション文化の促進にもなるため、今後も継続してほしい。

(11)国際交流

【意見】

・留学生受け入れの検討も視野に入れてほしい。